

令和7年1月29日

保護者様

北九州市立引野中学校
校長 峯 隆 幸

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、3年生を対象として、令和6年4月18日（木）に「教科（国語、数学）に関する調査」、文部科学省が指定した日（4月10日から4月30日の間）に「生徒質問調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

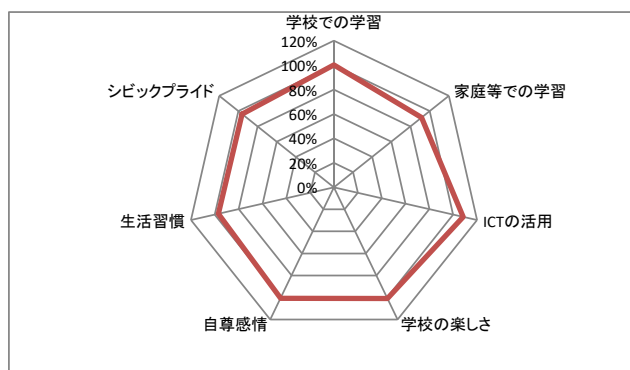
学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 教科に関する調査結果の概要

教科・区分	学力調査の分析（傾向や特徴）	全国平均正答率との比較
国語	・すべての分類・区分において全国平均を上回ることができている。 ・「知識及び技能」における（1）言葉の使い方に関する事項の正答率が高い。 ・「C 読むこと」の正答率は全国平均を上回っているものの、ほぼ差異がない。	上回っている
数学	・すべての分類・区分において全国平均を上回ることができている。 ・記述式問題の正答率が高い。 ・図形の問題が全国平均を上回っているものの、ほぼ差異がない。	上回っている

2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問調査結果の概要



質問調査の結果分析
・「学校の楽しさ」「自尊感情」に関する質問の肯定的回答が全国平均を上回っている。今後も生徒一人一人が役割をもって活躍し、達成感や充実感を感じられる授業や特別活動、学校行事の充実を目指す。
・授業におけるタブレットやICTの活用に関する質問への肯定的回答が97.7%と比較的高い割合となっている。今後も個に応じた指導の場面や話し合いや教え合い活動等の協働的な学びを深める場で効果的な活用ができるよう、さらなる授業改善に取り組む。
・シビックプライドに関する質問への肯定的回答の割合が全国平均を下回っている。学校と地域で取り組んでいる地域行事でのボランティア活動への参加を呼びかけ、積極的に郷土資料を用いた道徳や総合的な学習の時間に取り組む。

3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

・授業で、「自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表する取組」として話し合いの場やプレゼンテーションする場を設定し取り組ませる。

② 家庭生活習慣等に関する取組

・生活習慣に関する項目が全国平均を下回っている。保健体育や、技術・家庭科等の教科指導や、給食指導での食育などを通じて、日常的に食や睡眠の重要性、生活リズムを整えることで心身の健康が保てることを伝える。